

平成30年度

# 広島大学理学研究科 数学教室談話会

平成30年11月6日(火) 午後1時  
広島大学理学部B棟7階B707教室

小林 俊行氏(東京大学大学院数理科学研究科)

題目：局所から大域へー 不定値計量をもつ局所対称空間の幾何と解析

2018年は、リーマン幾何の枠組みを超えた等質空間の不連続群の本格的な一般理論が生まれてから30年になる。この若い分野は、独自の研究手法の開発を必要とすると同時に、リー群論・微分幾何・等質空間論・エルゴード理論・表現論・数論・組合せ論・偏微分方程式論など、多くの分野と関わり合いながら発展してきた。談話会では、計量が正定値でない均質な「新しい楽器」を作ることができるか(擬リーマン多様体の不連続群論)、その「音色」の特徴は何か(変形論とスペクトル解析)というお話を通じてこの30年間の発展と、最近の話題について紹介したい。

問合せ先:  
広島大学理学研究科数学教室談話会係  
〒739-8526 東広島市鏡山1-3-1  
電話: 082-424-7330 (川下 美潮)  
email: kawasita@hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

※ 本セミナーは、5研究科共同セミナーを兼ねています。